



避難所になった体育館（浪江町）

特集 震災遺産を考える

それぞれの9年

会期：令和2年2月11日(火・祝)～4月12日(日)
会場：福島県立博物館 企画展示室 観覧無料
開館時間：9:30～17:00 (最終入館 16:30)

関連行事

講演会&トークイベント「ひなん暮らしー過去・現在・未来ー」3月1日(日) 13:30～15:00 場所：講堂・企画展示室
講師：伊藤まり氏(浪江町からの県外避難者・NPO法人WE21 ジャパン青葉代表)

内山大介(当館学芸員)

防災講座「楽しいそなえ」3月20日(金・祝) 14:00～15:00 場所：エントランスホール

講師：渡邊浩二氏(双葉町からの県外避難者・NPO法人地域活動サポートセンター柏崎)

展示解説 2月11日(火・祝) 10:00～

2月22日(土)、3月7日(土)、11日(水)、20日(金・祝)、4月11日(土) 13:30～ 講師：当館学芸員

東日本大震災と原子力発電所の事故から9年経ちます。しかし、福島では原子力発電所の事故のために、いまだに被災地での避難生活が続いています。震災とともに始まった「ふくしまの経験」はいまも継続中です。これまでに福島県立博物館では、この災害に関わる資料として震災遺産を収集してきました。これら震災遺産を通じてこれまでを振り返り、それぞれが過ごしてきた時を共有します。

休館日 2月17日(月)、25日(火)、3月2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)、4月6日(月)

主催：福島県立博物館

後援：(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

お問い合わせ先 福島県立博物館
〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25
Tel 0242-28-6000 Fax 0242-28-5986